

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3 年	2	必修
担当教員			
小板橋 信二			
A (会計学科)	S (専門科目)	SM (演習)	402 (専門ゼミ・卒業論文等)

授業のねらい（概要）	会計学研究法で学んだ地域金融及び企業実態把握についての専門知識・分析スキルを基礎に、事例研究を中心に問題解決能力を身に付けることを目標とする。 ゼミ生間で活発な議論を進めことで、自分が興味ある課題を見つけ出すことに繋げる。 更に、卒業論文の研究テーマを設定し早期に着手するよう個別指導を行っていく。
授業計画	- 群馬県関連企業の事業性評価 財務諸表、ホームページより情報収集 SWOT分析表、ビジネス俯瞰図を利用し企業の特徴や課題を分析 - 経営改善可否の検討 金融庁公表の「知ってナットク！事例集」 中小企業の実情にそった見方から経営改善を提案 - 経済・金融のトレンドに強くなる ビジネス（経済、金融、業界、企業等）をキーワードとした新聞記事を要約し発表 社会への影響、自分の生活への影響などをゼミ生間で議論 - 卒業論文のテーマ設定と指導 各自のテーマ設定理由と概要 各自のテーマに関する資料・情報の収集 各自のテーマに対する個別指導 - 就職活動の準備 自分の経験・スキル・強みを棚卸 将来のキャリアを描く 業界・企業を調査 企業を選択する基準を決定 - 社会体験の実施 アウトキャンパスディを利用して工場・企業見学を予定している 秋：東京金融市場の現場実査 予習（時間）：文献・資料を熟読かつ補足情報を収集し、ゼミ生間の意見交換に備える（120分） 復習（時間）：配布資料・講義ノートの見直し（120分）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 【身に付くスキル】 生涯学習力・論理的思考力
到達目標	①財務と事業を一体のものとして企業を分析するスキルを身に付ける。 ②業界の特徴・動向を把握したうえで、当該企業の事業性評価を理解する。 ③企業の経営改善への具体策を考える。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題レポートの注意事項や重要事項は、授業内で適宜説明する。
履修上の注意	①授業には意欲的に参加し積極的に発言すること、また他の人の意見・考えは尊重すること。 ②経済・社会情勢、業界・企業動向に関する新聞記事には毎日目を通すこと。 （興味を持った記事はスクラップすることが望ましい） ③ゼミ生自ら社会見学（工場、企業）の起案をすることを期待する。 ④止むを得ず欠席する場合は事前連絡すること。
成績評価の方法・基準	①提出レポート30%、②学修意欲70%
教科書	書名：ベテラン融資マンの事業性評価 著者：寺岡雅顕、樽谷祐一、加藤元広 出版社：銀行研修社 価格：1574円（税別）
参考書・教材	書名：対話力ですすめる 事業性評価がよくわかる本 著者名：大山雅己 出版社：経済法令研究会 価格1500円（税別） 書名：地方創生のための地域金融機関の役割 著者：家森信善 出版社：中央経済社 価格：3000円（税別）
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知）